

状況報告（第 8 報）

表題の件につきまして取り急ぎ下記の通り、ご案内申し上げます。

記

1. 落ち着きを取り戻しました。
 - 1) 生産農場は、ヒヨコを農場に入れました。(鶏を出荷した後、水洗い、消毒後、新たな雛を迎える準備をして、新しい雛を農場にいれ、給餌して育成していきます。)
 - 2) 農場では、水は大丈夫か、飼料が切れることなく届くのか、ガスは届くか、親類縁者に被災している方がおられたりと問題が山積みです。
 - 3) 「信じてやりましょう」の言葉で、鶏を育成しお届けすることができます。
 2. 飯舘村から通ってくる従業員もいます。

飯舘村では、放射線の高い地点での放射線測定が支援チームにより始まりました。助言も頂いている報道がなされています。飯舘村の従業員達も元気に工場で作業にあたっております。
 3. 輸送も回復しています
車両燃料も以前のような、行列作りが無くなり、燃料確保も通常に戻りつつあります。通行止めになっていた伊達市近辺の阿武隈川にかかる橋も復旧がなされており、通行が可能になりました。
 4. 生活
 - 1) 私達は震災前の状況に戻りつつあり、伊達市の状況は普段通りの感が致します。
 - 2) 非難されておられる方は、生活環境が支援者により良くなっていますが、私達の様には戻っておりません。自主避難市町村が報道されている通り増えております。
 - 3) 20km～30km圏内の方々は、ご自宅に戻られる方が増えている報道です。
 - 4) 1市町村の中でも放射線濃度の高い地区と低い地区がありますが、総じて減少して来ています。
 5. 緊急時における放射性物質モニタリングについて
4月5日、福島県の依頼により、第2回目のサンプリングがありました。結果は、公表され次第、ご報告致します。
 6. 福島県の課題
 - 1) 福島原子力発電所の状況は報道の通り、予断を許さない状況です。
 - 2) 四季折々のうつくしま福島、梅、桜、桃の花咲く桃源郷に、御引立てをお願い申し上げます。
- 以上